



2025年3月期 決算説明資料

2025年5月1日

証券コード: 6467 (東証スタンダード市場)

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<https://www.nichidai.jp/>

- 1)事業紹介
- 2)2025年 3月期 決算概要
- 3)2026年 3月期 通期業績 予想
- 4)中期経営戦略の進捗
- 5)配当について

1)事業紹介

2)2025年 3月期 決算概要

3)2026年 3月期 通期業績 予想

4)中期経営戦略の進捗

5)配当について

高精度な自動車部品をつくる
「金型」をトータルサポート

金型事業

Precision Dies Business

一発のプレスで
材料を複雑な形状に加工



材料 → 鍛造 → 部品

高精度 省資源 高強度

金型

工程設計から金型
生産・部品製造ま
でのトータルエン
지니어リングを提供



トータルエンジニアリング

営業	設計	金型製造
周辺技術の提供	部品製造	研究開発

金型のノウハウを活かし、部品の
量産から組立まで幅広く対応

精密部品事業

Precision Parts Business

金型のノウハウを活かした
鍛造部品の量産
ターボチャージャー部品の組立



エンジン
関連部品 エアコン用部品 EV車
対応部品
ターボ
チャージャー トランス
ミッション 駆動
関連部品

スクロール鍛造品

独自技術である「背圧
機構」を使って鍛造し、
押し出し部の高さが均一
になることなどが特徴



ターボチャージャー部品

ターボチャージャー
部品の組立てで顧客
企業の現地調達ニ
ーズに対応



過酷な条件でも使える金属
フィルターをさまざまな産業に提供

フィルタ事業

Filter Business

ステンレスの金網を
重ねて焼結して加工



ステンレス
金網 焼結炉 産業用
拡散接合技術で
一体化 フィルター

高強度 耐熱 耐酸性

産業用フィルター

積層焼結フィルターの生産と顧客メ
ーカの用途に応じた形状に加工



洗浄・再生サービス

フィルターの洗浄・再生サービス
の提供

1) 事業紹介

金型事業

単独

ニチダイ
(ND)

宇治田原工場



精密鍛造金型

- 精密鍛造金型の生産拠点
- 約30名の開発人員を持つ

精密部品事業

宇治田原工場



スクロール鍛造品

- 各種鍛造品の生産
- スクロール鍛造品が主力製品

京田辺工場



V Gターボ
チャージャー部品

- 国内におけるターボチャージャー部品の生産拠点

フィルタ事業

ニチダイフィルタ
(NFC)

宇治田原工場



積層焼結金網
フィルター

- 国内の開発・生産拠点
- 焼結炉を5基保有

海外拠点

ニチダイ
アジア
(NDA)

- ◆タイに立地する金型販売拠点

ニチダイ
USA
(NUC)

- ◆米国オハイオ州にある金型販売拠点

ニチダイタイランド
(NDT)

- ◆タイ・バンコク近郊にある海外子会社
金型事業、精密部品事業双方の生産拠点
TSMとの吸収合併後の存続会社とする

金型事業

- ・精密鍛造金型の生産

精密部品事業

- ・ターボチャージャー部品の生産販売
- ・スクロール鍛造品の生産販売

吸収合併

タイ・シンタート・メッシュ
(TSM)

2025年1月10日に当社子会社に関する合併を公表。
(2025年7月に効力発生予定)

- ◆タイ北部・チェンマイ近郊に立地するフィルタ事業の生産拠点
石油掘削用フィルターが主製品
焼結炉を5基保有

1)事業紹介

2)2025年 3月期 決算概要

3)2026年 3月期 通期業績 予想

4)中期経営戦略の進捗

5)配当について

2) 2025年 3月期 決算概要 -計画対比-

2024年5月1日公表の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が発生したので、本日プレスリリース実施。

売上高:精密部品事業、フィルタ事業の売上高は好調に推移するものの、金型事業のアジア地域の減少により対期初計画は減収となる。

利益 :主に経費の低減やプロダクトミックスの良化により各利益は増益となる。

※百万円未満切り捨て

単位:百万円

科 目		2025年 3月期 期初計画 (2024年5月発表)	2025年 3月期 実績	増減額	増減率 (%)
売上高		11,900	11,602	▲297	▲2.5%
売上総利益		2,269	2,321	52	2.3%
販売管理費		2,189	2,167	▲21	▲1.0%
営業利益		80	153	73	92.1%
営業外損益		▲20	▲31	▲11	58.1%
経常利益		100	185	85	85.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益		50	56	6	13.0%
為替レート (単位:円)	米ドル	150.00	152.50		
	タイバーツ	4.20	4.38		

※[為替レート] 2025年 3月期期初計画: 当社想定レート、 2025年 3月期実績:2024年4月～2025年3月の平均レートを記載。

2) 2025年 3月期 決算概要 -前年対比-

売上高：金型事業のアジア地域が減収となるものの、精密部品事業、フィルタ事業の増収により対前年は増収となる。

利益：主に売上高の増加とプロダクトミックスの良化により各利益は増益となる。

※百万円未満切り捨て

単位:百万円

科 目	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	増減額	増減率 (%)	2025年3月期 期初計画 (24年5月発表)
売上高	11,323	11,602	279	2.5%	11,900
売上総利益	2,180	2,321	141	6.5%	2,269
販売管理費	2,222	2,167	▲55	▲2.5%	2,189
営業利益	▲42	153	196	—	80
営業外損益	▲107	▲31	▲76	—	▲20
経常利益	64	185	120	185.3%	100
親会社株主に 帰属する当期純利益	44	56	11	25.5%	50
為替レート (単位:円)	米ドル	147.88	152.50	—	150.00
	タイバーツ	4.16	4.38	—	4.20

※[為替レート] 2024年 3月期 実績:2023年4月～2024年3月の平均レート、2025年度 3月期実績:2024年4月～2025年3月の平均レートを記載。

2) 2025年 3月期 決算概要 -金型事業の推移-

《国内外別売上高・経常利益》

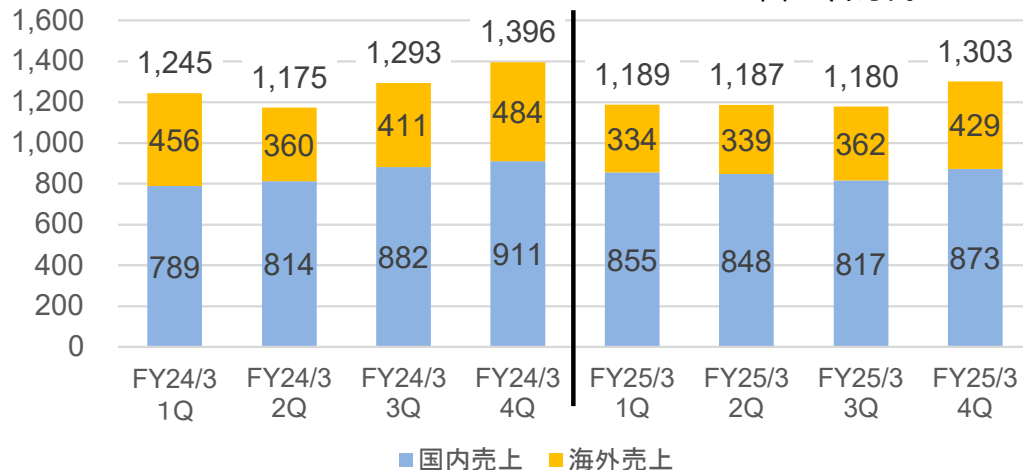
単位: 百万円

科 目	2024年 3月期 実績	2025年 3月期 実績	対前期 増減率
国内 売上高	3,397	3,394	▲0.1%
海外 売上高	1,712	1,466	▲14.4%
売上高合計	5,110	4,860	▲4.9%
経常利益	162	133	▲17.9%
経常利益率	3.2%	2.7%	▲0.5pt

※百万円未満切り捨て

四半期売上高推移

単位: 百万円



【売上高増減要因】

国内: 自動車業界の認証不正による需要低下があるも前年同期並みとなる。
海外: アジア地域の低迷により減収。

【経常利益増減要因】

主に売上高減に伴い減益。

2) 2025年 3月期 決算概要 -精密部品事業の推移-

《国内外別売上高・経常利益》

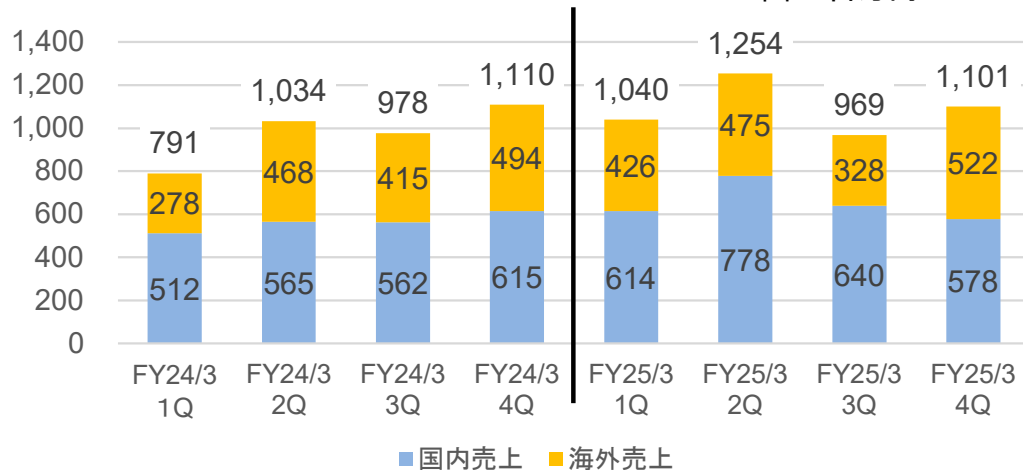
単位: 百万円

科 目	2024年 3月期 実績	2025年 3月期 実績	対前期 増減率
国内 売上高	2,257	2,611	15.7%
海外 売上高	1,658	1,753	5.7%
売上高合計	3,915	4,364	11.5%
経常利益	▲163	▲119	—
経常利益率	▲4.2%	▲2.7%	+1.5pt

※百万円未満切り捨て

四半期売上高推移

単位: 百万円



【売上高増減要因】

国内: 主力製品が全般的に増加し、増収。
海外: 引き続き低調に推移するも、一部製品が増加し増収。

【経常利益増減要因】

売上高増により損失幅が減少。

2) 2025年 3月期 決算概要 -フィルタ事業の推移-

《国内外別売上高・経常利益》

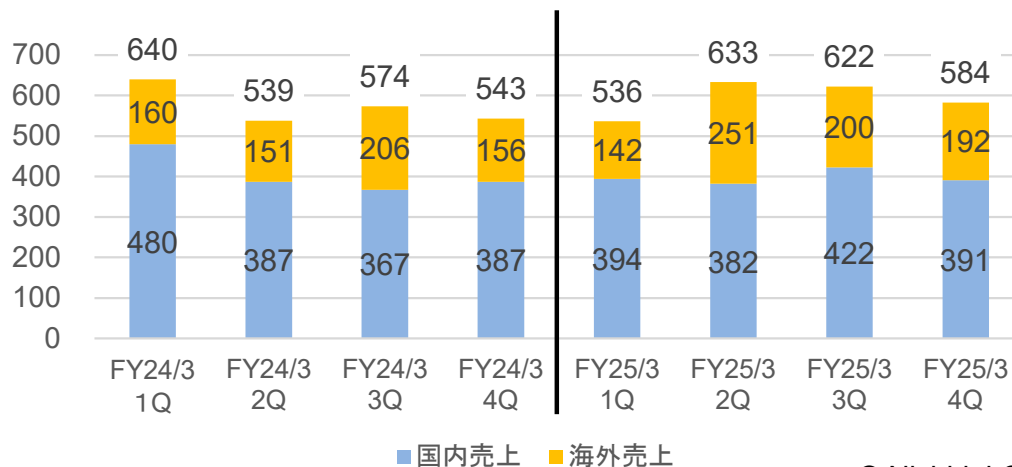
単位: 百万円

科 目	2024年 3月期 実績	2025年 3月期 実績	対前期 増減率
国内 売上高	1,622	1,590	▲2.0%
海外 売上高	675	786	16.4%
売上高合計	2,297	2,376	3.4%
経常利益	67	170	155.0%
経常利益率	2.9%	7.2%	+4.3pt

※百万円未満切り捨て

四半期売上高推移

単位: 百万円



【売上高増減要因】

国内: 主力顧客の一時的な需要低下により減収。

海外: 主にアジア向けの売上高が増加。

【経常利益増減要因】

売上高増及びプロダクトミックス良化により増益。

2) 2025年 3月期 決算概要 -B/S:資産の状況-

単位: 百万円

科 目		2024年 3月期 期末	2025年 3月期 期末	増減額
	現金及び預金	3,274	3,003	▲270
	売上債権	3,445	3,214	▲231
	棚卸資産	1,821	1,867	46
	その他	228	287	58
流動資産合計		8,770	8,372	▲397
	有形固定資産	5,286	5,579	293
	無形固定資産	452	460	7
	投資その他の資産	678	761	83
固定資産合計		6,417	6,800	383
資産合計		15,187	15,173	▲14

※百万円未満切り捨て

2) 2025年 3月期 決算概要 -B/S:負債・純資産の状況-

※百万円未満切り捨て

単位:百万円

科 目		2024年 3月期 期末	2025年 3月期 期末	増減額
	買掛金	1,181	1,057	▲124
	短期借入金	1,538	1,694	155
	未払法人税等	33	38	5
	賞与引当金	176	173	▲2
	その他	763	537	▲226
	流動負債合計	3,693	3,501	▲192
	長期借入金	416	250	▲166
	その他	180	251	70
	固定負債合計	597	501	▲96
	負債合計	4,291	4,003	▲288
	株主資本	9,368	9,394	26
	その他の包括利益累計額	1,068	1,567	499
	非支配株主持分	459	208	▲250
純資産合計		10,895	11,170	274
負債・純資産合計		15,187	15,173	▲14

2) 2025年 3月期 決算概要 -C/Fの状況-

■営業活動によるCFの増加: +21百万円

債権債務+313百万円、棚卸資産▲287百万円、その他▲5百万円

■投資活動によるCFの減少: ▲400百万円

固定資産取得▲239百万円、保険積立金解約収入▲94百万円、定期預金預入払戻▲93百万円、その他+26百万円

■財務活動によりCFの増加: +757百万円

子会社株式取得+504百万円、短期借入金+200百万円、リース債務返済+28百万円、その他+25百万円

単位: 百万円

	2024年 3月期 実績	2025年 3月期 実績	増減額
営業活動によるCF	740	762	21
投資活動によるCF	▲491	▲891	▲400
財務活動によるCF	▲1,133	▲376	757
現金及び現金同等物増減額	▲754	▲292	461
現金及び現金同等物の期首残高	3,800	3,046	▲754
現金及び現金同等物の期末残高	3,046	2,753	▲292
フリー・キャッシュ・フロー	248	▲129	▲378

※百万円未満切り捨て

1)事業紹介

2)2025年 3月期 決算概要

3)2026年 3月期 通期業績 予想

4)中期経営戦略の進捗

5)配当について

3) 2026年 3月期 通期業績予想 -売上高・利益の状況-

2026年3月期も不安定な国際情勢など当社を取り巻く経営環境は不透明であるものの、マーケティング施策強化による顧客開拓のさらなる推進や生産効率の向上により、増収増益の予想とする。

単位:百万円

科 目	2025年 3月期 実績	2026年 3月期 計画
売上高	11,602	12,100
営業利益	153	160
経常利益	185	190
親会社株主に 帰属する当期純利益	56	100

※百万円未満切り捨て

為替レート (単位:円)	米ドル	152.50	140.00
	タイバーツ	4.38	4.20

※25/3期実績の為替レートは2024年4月～2025年3月の平均レート ・26/3期計画の為替レートは当社想定レートを記載。

3) 2026年 3月期 通期業績予想 -事業別売上高の状況-

- 金型事業 : アジア地域と国内主力顧客への拡販を図り、増収を計画。
- 精密部品事業 : 引き続き低水準で推移するものの、前年より微増を計画。
- フィルタ事業 : マーケティング施策を強化し国内外でのさらなる顧客開拓を図り、増収を計画。

単位: 百万円

事業セグメント	2025年 3月期 実績	2026年 3月期 計画	対前期 増減率
金型事業	4,860	5,150	6.0%
精密部品事業	4,364	4,400	0.8%
フィルタ事業	2,376	2,550	7.3%
連結計	11,602	12,100	4.3%

※百万円未満切り捨て

- 1) 事業紹介
- 2) 25/3期第3四半期 決算概要
- 3) 25/3期通期 業績予想
- 4) 中期経営戦略の進捗**
- 5) 配当について



CHANGE

二チノバージョン 2026

CHANGE ニチノベーション2026

創業の精神

V — 「vitality」を持つこと
S — 「specialty」を持つこと
O — 「originality」を持つこと
P — 「passion」を持つこと

01 CHANGE

VSOP精神での顧客価値創造

- 事業の成長と収益力強化
- 新事業の創出とグローバル企業への進化

02 CHANGE

社員が輝き続ける会社づくり

- 社員の成長、会社の成長を喜ぶ相互関係の構築
- 社員が誇れる企業への成長

03 CHANGE

持続可能な社会への貢献

- 社会から必要とされ、選ばれる企業へ
- 次世代社会への貢献

CHANGE① VSOP精神での顧客価値創造

2022

2023

2024

2025

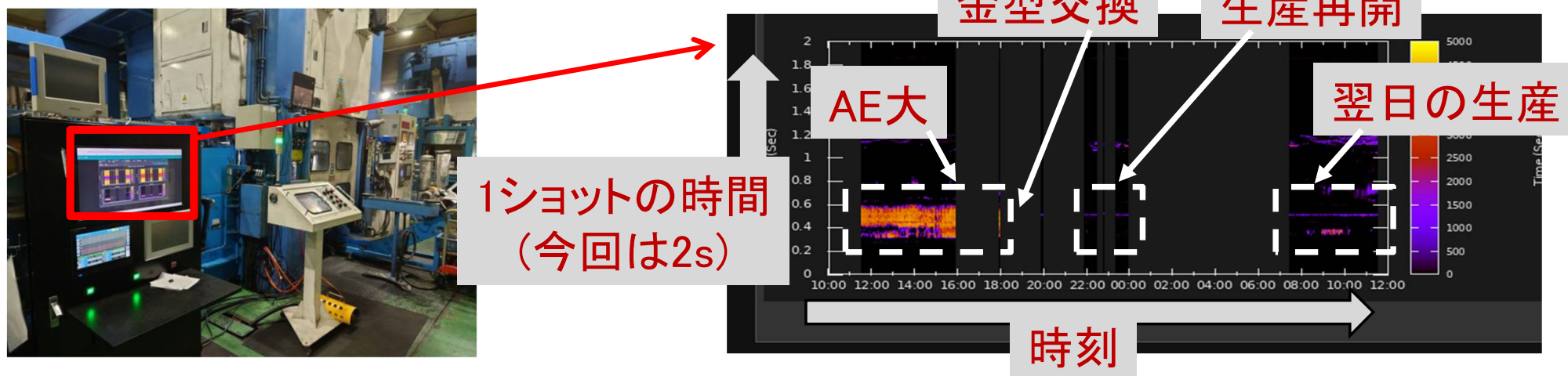
2026

事業の成長と 収益力強化	2022	2023	2024
	(部品供給不足や、資材高騰の影響もあり、事業環境悪化の中) - 品質向上・生産効率の改善 - インド市場開拓活動強化	- 組織再編実施 金型事業と精密部品事業誕生 - 機能共有化などシナジー効果による競争力向上 - 経常利益で黒字化	- 新分野への施策加速(事業部門トップセールス) - 数字を意識した経営 - 顧客との健全な関係性の構築
グローバル企業への進化 新事業創出と	2022	2023	2024
	- 鍛造DXの開発が進展 - フィルタ事業3N※推進 (※新用途、新市場、新製品) - ニチダイタイランド役割明確化	- 新事業開発を機動的に行う体制整備 - ニチダイタイランド完全子会社化 (2024年3月25日より)	- 鍛造DXのトヨタ様への採用 - NDT・TSMの合併を決断 - フィルタ×精密の協業促進

- 成長分野への投資
- 生産性向上とDX
- グローバル展開の加速、グローバル拠点との連携強化
- 新技術開発とオープンイノベーション

トヨタ自動車と「鍛造DX」の実用化に向けて協力合意 — 鍛造加工のリアルタイム統合可視化技術 —

「勘」と「経験」に頼る鍛造現場に革新をもたらす、ニチダイの「インテリジェントダイセット」※1。
既存設備のダイセットに金型の状態を可視化する各種センサを組み込み、荷重、変位、温度などを精密にモニタリング。金型破損や不良の予兆を早期にキャッチする。これにより、ダウンタイムを劇的に削減し、歩留まり向上に大きく貢献。



※1 2022年にはIVIから最優秀賞、2023年には特別賞を受賞するなど、業界内でも一定の評価を得てきました。

本合意のポイント

- トヨタ自動車の極めて高いものづくりノウハウと生産活動で得られるビッグデータを、ニチダイが開発中の「鍛造DX」と組み合わせることにより、新たな製造オペレーションの実用化に期待。

2025年1月10日に当社子会社に関する合併を公表 (2025年7月に効力発生予定)

NICHIDAI (THAILAND) LTD.

THAI SINTERED MESH CO., LTD.



NDT



TSM

当社の連結子会社である
NICHIDAI (THAILAND) LTD. とTHAI
SINTERED MESH CO., LTD.の2社が
NDTを存続会社とする吸収合併を実施。

※ 吸収合併後、タイにおけるフィルタ事業の拠点はNDTに移設し、事業を継続する予定。

本吸収合併のポイント

- 今回の吸収合併を機に各事業部門のシナジー効果を創出し、「グローバル戦略」に向けた活動を加速する。
- NDTとTSMの間接部門の統合を行い、経営の合理化を図る。

CHANGE ② 社員が輝き続ける会社づくり

2022

2023

2024

2025

2026

社員の成長 相互関係の構築 会社の成長を喜ぶ	- 挑戦、組織風土改革を重点テーマに - ND Station (Web版社内報) 開設 - 研修制度見直し	- 新人事制度を導入 - 社員のキャリアパスを明確化 - 未来会議 (社員有志によるワークショップ) の発足	- 社員のスキルアップ支援 (研修・教育) の充実 - 挨拶の励行などコミュニケーションを促進
	- 健康経営の推進 - 多様な働き方などワークライフバランスを重視した施策の実施	- タウンミーティング (社長と社員の意見交換会) 開催 - 有給・離職率など目標設定 - イントラネットによる情報共有を推進	「健康経営優良法人」認証取得 - ワークスマートデー (ノー残業デー) 導入 - 社内イベントを充実

人的資本経営の実践

社員のモチベーション向上や人材の定着・確保に全力投球

女性活躍推進やダイバーシティ&インクルージョンの推進

— 人的資本経営の実践により、企業価値の向上を目指す — 健康経営優良法人2025取得、年間休日120日、ベースアップを実現

研修制度のブラッシュアップ

- ニチダイグループ社員に対し、「個」が業務スキルアップ・成長していくために**リーダー層向け研修の拡充・選択型自己啓発プログラム**を受講できる「**しくみ**」づくり実施。
→「挑戦を歓迎する仕組みづくり」・「組織風土改革」、「グローバル戦略強化」。

「健康経営」の継続的推進

- 社員の健康増進やモチベーションアップにより、社員一人ひとりが心身共に健康で輝き続ける環境づくりに取り組む。
- 社員にニチダイで働くことに愛着を持ってもらう取り組みを推進。

各種社内イベントの開催

- 社員の家族参加型スポーツイベント「スポーツデー」を開催。
- 中期経営戦略を推進する有志の集まり「ニチダイ未来会議」によるイベント発案。
 - 「社員と社員の家族向けの工場見学」を開催。
 - 社員同志で技術を競い合う「腕自慢コンテスト」を開催。

CHANGE ③ 持続可能な社会への貢献

2022

2023

2024

2025

2026

社会から必要とされ 選ばれる企業へ	2022	2023	2024
	IR協議会の「“共感！”IR賞」受賞	「パートナーシップ構築宣言」を公表 - 取引先との共存共栄関係の構築を目指す	鍛造DXがトヨタ様から採用 - MTH様※1、ITT様※2からベストサプライヤー賞受賞 ※1 三菱重工サーマルシステムズ ※2 IHI TURBO(THAILAND)CO.,LTD.
次世代社会への 貢献	- 事業活動におけるエネルギー・CO₂の削減 - NDTで太陽光発電を導入 - サステナビリティのHP開設	宇治田原工場で太陽光発電を導入	- 地域イベントへの協賛や清掃活動参加、少年野球教室の開催 - サステナビリティ活動促進

- ・ サプライチェーン全体での環境負荷低減
- ・ 国際的な環境基準 (ISO14001等) の認証取得 (NDTは2015年取得済)
- ・ 地域社会含むステークホルダーとの関係強化

— 持続可能な社会への貢献 — 太陽光パネル本格稼働、品質向上への貢献活動が表彰



NDTに続き、宇治田原工場でも太陽光パネルが本格的に稼働開始。これにより、CO2排出量の削減に貢献し、クリーンで再生可能なエネルギーを利用することが可能。

精密部品事業において、三菱重工サーマルシステムズ様より、品質向上活動への多大な貢献が認められ最優秀賞を受賞。



ITT様から日頃のフォローと管理能力を高く、コスト以外での品質、レスポンスも高く評価され、ベストサプライヤー賞を受賞。

本取組のポイント

- 企業価値向上を目指し、ESG経営（環境、社会、企業統治）を推進していく上で、ものづくりによる環境負荷の低減を実施。
- 技術による社会課題の解決を行い、ニチダイブランドの認知度向上に貢献。

1)事業紹介

2)2025年 3月期 決算概要

3)2026年 3月期 通期業績 予想

4)中期経営戦略の進捗

5)配当について

5) 配当について

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。

	第2四半期	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
23年 3月期	4.00	2.00	6.00
24年 3月期	4.00	2.00	6.00
25年 3月期	2.00	(予定) 4.00	6.00
26年 3月期 (予想)	2.00	4.00	6.00

- 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

IR窓口 : 人事総務・IT部
人材開発・IR課
Tel : 0774-62-3481
Fax : 0774-62-3469
E-mail : ir@nichidai.co.jp